

「石巻圏域における再造林促進に関する協定」による植樹式

森林資源の充実により、石巻圏域（石巻市・東松島市・女川町）でも近年各地で人工林の伐採・取獲が進む一方、伐採跡地の更新が課題となっています。このため、持続的な森林経営やSDGs（目標15「陸の豊かさを守ろう」など）の達成を目指し、再造林を進めようと、令和二年六月に、以下の三者で協定を締結しました【**㈱山大**（県内最大級の製材工場）、石巻地区森林組合（中核的な担い手）、**東部地方振興事務所**（取組支援とPR）】。

この協定に基づく二回目の植樹式が、十一月二十八日に石巻市北上町で開催されました。

苗木については、協定に基づいて**㈱山大**から提供されたもののほか、**BXカネシン**（**㈱東京住宅資材メーカー**）からも寄付をいただきました（再造林の取組に賛同し、**BXカネシン**（**㈱**）と**㈱山大**で「再造林に関する協定」を別途締結しています）。

また、会場の山林から産出された木材は東北ポーリング（**㈱**）（**仙台市若林区**）の新社屋の部材

（柱・梁材、床や屋根にCLT）として使われていますが、同社では、木材を使用することのみならず、植樹活動まで行うことで被災地復興や周辺環境の維持に取り組むことを目指しています。

そのため、当日は協定による三者のほか、**BXカネシン**（**㈱**）及び東北ポーリング（**㈱**）の社員の方々も参加し、〇・三五分の山林にスギ苗木を七百本植栽しました。

当所では、今後も取組の推進に向け、関係者と連携した再造林を進めていきます。



東北ポーリング（**㈱**）の新社屋



植樹式後の記念写真

（東部地方振興事務所）